

制裁を決議します。

その時まで、中国は北朝鮮との同盟を意識し、棄権票を投じたが、それから一ヶ月後、二〇〇九年五月二十四日、北朝鮮政権は朝鮮半島を越えて、地球の日曜日に向かって二回目の核実験まで強行するに至ります。

もちろん長距離運搬ロケットも核実験もすべて失敗作だが、それでも続々その冒險的な火遊びについて中国は激怒して、国連安保理理事会で北朝鮮制裁決議案に賛成票を投げます。結局、韓国と国際社会を相手に犯しにきたテロと挑発の日曜日が金氏政権を脅かす制裁の日曜日として帰ってきたわけです。

君たちの歴史教科書とはあまりにも違う内容です。だから私は偽りの教育を受けていると言うのです。

結果、北朝鮮独裁者たちの言いなりになつてきた朝鮮



『わが朝鮮総連の罪と罰』
文藝春秋 韓光熙・著、
野村旗守・取材構成

総聯はみす
ぼらしい姿
にかわりま
した。
総連幹部、
イルクンは
全員が貴方

たちと同じ教育を受けていたからである。
この恐ろしい洗脳教育で日本人拉致の手助けをした総連幹部が自分の人生を振り返りながら反省の思いを『わが朝鮮総連の罪と罰』(韓光熙・著 左写真)に著述している。

世界平和のため地下鉄サリン事件を敢行したオオム真理教と何が違うのです。
間違った教育とはこのように恐ろしい結果をもたらすのです。

学生諸君、お分かりでしょうか。

朝鮮総連は今でも遅くない、目をさまし、北朝鮮政権に盲目に従うのではなく、同胞たちの権利を擁護するという原点に戻り、在日の子供たちが日本でより良く共存できる平和で明るい未来を築いて行きましょう。



朝鮮学校の実態を隠ぺいするな！ 朝鮮総連の論客「朴三石」を批判する

『外国人学校』(中央公論)、『知っていますか 朝鮮学校』(岩波ブックレット)を中心

北朝鮮帰国者の生命と人権を守る会 副代表 三浦 小太郎

朴三石著『外国人学校』(中公新書)

せつかくの良書なのに朝鮮学校の記述は不適切

一九七七年に朝鮮大学校政治経済学部を卒業した朴三石は、現在、朝鮮学校問題、また外国人学校の問題について積極的に発言している識者の一人である。著書『外国人学校』は、日本における外国人子弟の教育の実態と未来を総合的に考える上できわめてわかりやすい文献の一つである。しかし残念ながら、ここで一言付け加えておかねばなるまい。「朝鮮学校の記述を除けば」と。

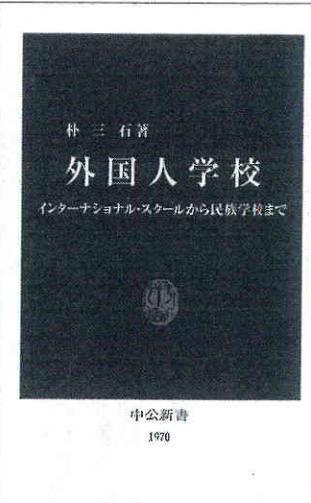
二〇〇八年に書かれた本書にて、朴は外国人学校の実態を的確に指摘している。まず、外国人学校を、特定の民族や国籍を持つ子供たちを対象とした教育内容を取り、

特定の民族の言語を授業用語とする「民族学校」と、民族や国籍を問わず外国籍の子供たちを対象とし、国際共通語(主に英語)を授業擁護とする「国際学校(インターナショナル・スクール)」に分け、しかも現在の日本の法律では外国人学校に対する定義がないこと、それゆえに様々な問題が起きていることをきちんと指摘している。

また、本書が書かれた二〇〇七年限定では、日本における外国人学校二二一校のうち、外国人学校は一八八校、このうちかつては多くがアジア系の民族学校だったが、現在はアジア系民族学校八三校、南米系民族学校が九八校、欧米系が七校と、南米系の外国人学校が半数近くを占めていること、その理由はブラジル人学校の急増であること、これは一九八〇年代以後、経済のグローバル化

によりブラジル日系人などが日本に流入したことによるなど、日本社会の変貌を数字を挙げて説明している。本書終章の「可能性と展望」において、外国人学校の制度的保障が必要であること、「外国人学校振興法」による法的位置づけを提言している点にも共感できるものがある。

ここで私なりに現状を踏まえて付記しておきたいのだが、この不況下、ブラジル人、ペルー人など外国人労働者の大量解雇が一部すでに生じているとされる。企業には企業の論理があろうが、子供たちがそれにより外国人学校を辞めざるを得ない実情が生じ、NGOの報告の中には二〇〇九年以後数千の単位で子供たちが学校をやめたという報告もあるとされる。彼らは日本の労働を支えてきた人々であり、このような切捨ては人道的にも



国家の責任としても冷酷すぎる」とだらう。日本語の教育、そして正しい意味での民族教

育を行う外国人学校は、法的な制度下で児童の教育権を守られなくてはならないと思う。
しかし、ここで問題があるのは、それが「民族教育」であるという原則だ。各民族の歴史、言語、伝統を教えることと、特定の権力への忠節や、歪んだ事実と異なる歴史観を強制することは別であり、後者を行っている教育機関を「民族教育」として正当化することは許されない。ドイツ人学校がドイツの誇るべき歴史や文化を教えるのは当然だが、ヒトラーやナチスを偉大な英雄として教えるのは「民族教育」ではなく「ナチス教育」である。「光射せ」で繰り返し述べてきたように、朝鮮学校が現実に行っている教育は、明らかに、「金日成・金正日独裁政権礼賛教育」だ。ところが、朴三石は朝鮮学校の授業風景を見学していくながら、このような教科書内容には全く触れようとしないのだ。

朴は荒川の朝鮮初級学校の国語の授業内容を紹介し、ここ日本では子供たちがめったに触れる事のない朝鮮のことわざを、楽しく遊びながら子供たちが学んでいるところを紹介し、いかにもこの学校が穏当な教育をしていることを強調している。朴は「たまたま一緒に見ていた日本の小学校の先生」の言葉として、「先生と児童の距

離が近い」「同じ民族としての仲間意識」というか、信頼感があるようを感じる。また子供たちの表情がとても明るい。「楽しそうだ」という授業評価を紹介するが、二〇一二年春、平壌を訪問し、金正日の死を悲しみ、新たな指導者金正恩を絶賛する歌や踊りを披露したのは、この荒川の生徒たちではなかつただろうか。「子供の表情が軽く楽しそう」「同じ民族としての仲間意識」と言う讃美の言葉は、多分ヒトラーユーゲントにも、スターリン政権下のピオネール（少年団）でも、また毛沢東時代の紅衛兵にも当てはまる言葉だということくらいは、この小学校の先生は知つておいてほしいものだ。

さらに悪質な『知っていますか、朝鮮学校』

（岩波ブックレット）

岩波ブックレット『知っていますか、朝鮮学校』（二〇一二年八月出版）では、さらに悪質な「宣伝文書」に近い朝鮮学校擁護の主張が随所にみられる。まず朴は、在日朝鮮人がなぜ日本で生活しているのに、なぜ朝鮮学校に子供を通わせるのかという問い合わせに対し、「母国語である朝鮮語を学び、民族的アイデンティティを育て、朝鮮文化を受け継ぐため」在日朝鮮人の子供たちが朝鮮人

としての誇りと喜びを感じる人間となるため（三）朝鮮人としてのしつかりした自覚に基づき、日本人との友好を深められる国際感覚を育てるため、この三点を挙げている。

これは三点ともよく言われる論点だ。しかし、それならばなぜ、朝鮮学校に子供を通わせる在日コリアンが年を追うごとに減少していくのかについて、朴は全く触れようとしない。その親たちは、民族の誇りもなく、国际感覚もない、そして日本人との友好を深める意志のない人々なのだろうか。そうではあるまい。仮に朝鮮語を学びたければ、これは日本の進歩だと思うが、街中に朝鮮語を学べる学校も施設も現在は多く存在する。朝鮮学校に行くことが、民族の誇りや日本人との友好を育てることにつながるとは思えないからこそ、在日コリアン自身が朝鮮学校、朝鮮大学校を見捨て始めているのである。そしてそれは朝鮮総連からの多量の脱退といふ「日本国内の脱北現象」と軌を一にしていることにも、朴は全く触れようとしない。

逆に朴は、朝鮮学校で行われている教育が「反日教育」でないことを盛んに強調する。まず、これはもしかしたら私たち守る会など無償化反対派の論理を意識してのこ

知っていますか、 朝鮮学校

朴 三 石

どんな学校なの？
なぜ日本に存在するの？
どんな教科書を使っているの？

とかもし
れないが
「教科書
の全体像
を知るこ
とが必
要」、一部
の教科書
の部分的

な記述をもつて、学校全体を決めつけはならないとする。特に、「現代朝鮮歴史」の教科書のいくつかの部分的な記述を持つて反日教育と決めつけるなどと言う。しかし星への歩み出版が発行した朝鮮学校歴史教科書は、部分的な翻訳ではない。少なくとも三年間の歴史教育についてはすべて読めるよう全訳したものである。そのほとんど全ページにわたって、北朝鮮を独裁政権下に置き、あらゆる人権弾圧を行い、拉致事件を指令した金日成、金正日が讃美されている。どう誤解しようもない独裁者讃美の教育ではないか。

朴は朝鮮学校の歴史教科書について、次のように評価する。

的發展をほとんど評価せず、その中の従北派の言動を好意的に紹介する記述（実は金賢姫はでっち上げだという教科書記述への批判に、学校側は、それは韓国でも存在する説だと答えたことがある）も、また初級歴史教科書で金日成の生涯を、今では嘘だと分かり切っている北朝鮮公認の「神話」通り教える記述も、いずれも北朝鮮主導の、人権問題も民主化も抜きにした統一政策に沿ったものである。金日成が偉大な抗日戦争の英雄で、ソ連軍の力を殆ど借りずに朝鮮を解放し、かつまた朝鮮戦争では作戦を大いに成功させた（いずれも教科書の記述である）などということを教えることが、正しい統一への道なのだろうか。

（三）「冷戦構造の影響を受けていた從来の記述を

大きく改め、あくまでも朝鮮民族としての民族的立場からの適切な記述を目指している」

これまた詭弁としては「正しい」。もっとわかりやすく言えば、ソ連の崩壊、中国の改革開放政策以後、北朝鮮は東側からの援助が得られなくなり、それらの国々からの影響を脱し、ひたすら金日成、金正日讃美の歴史記述になつてきていることである。一つの典型として、朝鮮歴史

（一）「朝鮮歴史の停滞性、他律性ではなく、自律的発展を描いている」

こういうことを言うと、いかにも朝鮮民族の誇りを教えているように思う人がいるのかもしれないが、これは金日成が、自らは中ソいすれの影響も受けず自立し主体的な國づくりをしてきた、と自画自賛し、結局自国民を弾圧するだけでなく、外国の優れた文化・技術を受け入れずに北朝鮮をまさに「停滞」させてしまった現実を批判してこそ成り立つ言葉だろう。朝鮮半島が他国、特に中国、日本に影響されやすい地政学的位置にいたことは事実であり、その中で自立した文化、言語を守り抜いたことを評価するのは構わないのだが、今の北朝鮮の「停滞性」は朝鮮文化の誇りを傷つけるものである。

（二）「『民族統一教科書』を目指して記述されている」

これは「北朝鮮主導の民族統一教科書を目指して記述されている」と書けば実は正しい。朝鮮戦争はアメリカと韓国が始めたという記述も、北朝鮮の人権問題に全く触れていない統一の意義だけを主張する記述も、金賢姫は韓国でのでっち上げだという記述も、また韓国の一定の経済錯謬の民族主義である。

「拉致問題も教えていい」と強弁する朴三石

それなら人権問題や帰国者問題は教えているのか

朴三石は、拉致問題についても歴史を直視するために

朝鮮学校では教えていると強弁する。そして、二〇一一年三月に再版発行された高級学年三年の歴史教科書からは、それまでの教科書の「二〇〇二年九月、朝日平壤宣言発表以後、日本当局は『拉致問題』を極大化し、反共和国、反総連、反朝鮮人騒動を日々的に繰り広げることによって、日本社会には極端な民族排他主義的な雰囲気が作り出されていった」といった記述は削除したという。それならば、その新しい教科書をぜひ公開していただきたい。そして、朴は現実に日本社会で朝鮮民族に対し激

しい差別が起きていると言うが、私自身も、一部のネット論議や現実の朝鮮人への差別言動には反対である。しかしそれを引き起こした大きな要因の一つは、一つには、明らかに北朝鮮による日本人拉致と、その拉致事件を金正日が部分的で認め認めるまで、でっち上げだと主張してきた朝鮮総連の鉄面皮な姿勢ではないか。

そして、朴は教科書に明確な記述がないからと言つて、学校で拉致事件を教えていないわけではない、この拉致事件を歴史的経緯を踏まえて、学校現場では様々な資料を使って教えているという。ではその授業内容こそ「資料」も含めて発表してほしいものだが、それならば、なぜその拉致の事実上の責任者、金正日の死を偉大な指導者の死として朝鮮学校の子供たちが哀悼と生前の偉業をたたえる踊りや歌をわざわざ今年春平壌まで行って上演し、未だ拉致問題に不誠実な態度を取る金正恩新政権を新たな指導者として讃えるのか。

さらに言えば、私は拉致事件以上に教えなければならぬのは、総連自身が主導した在日朝鮮人帰国事業と、その後の帰国者の悲劇ではないか。今朝鮮学校に通つている子供たちの親や祖父、祖母の歴史に深く刻まれたこの悲劇を教えずして、在日朝鮮人の歴史教育とは言えない。

各種学校及び団体をお知らせします。（平成二十四年一月一日現在）

- 一 公立高等学校に係る授業料の不徴収及び高等学校等就学支援金の支給に関する法律施行規則第一条第一項第二号イの規定に基づき、文部科学大臣が指定する各種学校エスコーラ・パラレロ各種学校、東京韓国学校中・高等部、東京国際フランスク学園、東京中華学校、ブリティッシュ・スクール・イン・トウキョウ昭和、東京横浜独逸学園、横浜中華学院、イザキニュートン学校、H-IRO学園 エスコーラ ブラジレイラ プロフェソール カワセ、伯人学校イーエーエス浜松、ムンド・デ・アレグリア学校、伯人学校イーエーエス豊田、伯人学校イーエーエス豊橋、伯人学校イーエーエス碧南、伯人学校イーエーエス鈴鹿、ニッケン学園、日本フチーノ学院
- 二 公立高等学校に係る授業料の不徴収及び高等学校等就学支援金の支給に関する法律施行規則第一条第一項第二号ロの規定に基づき、文部科学大臣が指定する団体一、アメリカ合衆国カリフォルニア州に主たる事務所が所在する団体であるウェスタン・アソシエーション・オブ・スクールズ・アンド・カレッジズ（略称WASC）

そして、真に民族のことを思うのならば、北朝鮮の地で独裁政権下、飢餓と弾圧で死んでいく、いや、殺されていく民族同胞の人権問題、人道問題についてどういう教育をしているのか、朴と朝鮮学校にはぜひ答えていただきたい。

日本政府は差別などしていない、韓国人学校は無償化対象である。いまこそ必要な外国人学校法

朴三石は本書で、また他の場での発言でも、朝鮮学校の問題点をひたすら隠蔽しながら、授業料無償化がいまだにおこなわれるのは不当な差別であると主張している。ここで一例を示しておく。文部省は、外国人学校について、平成二十四年二月一日、以下の支援を行ったことを公表した。

二、「アメリカ合衆国コロラド州に主たる事務所が所在する団体であるアソシエーション・オブ・クリスチヤン・スクールズ・インターナショナル（略称ACSI）

三、グレート・ブリテン及び北部アイルランド連合王国ハンプシャー市に主たる事務所が所在する団体であるカウンセル・オブ・インターナショナル・スクールズ（略称CIS）

四、イスラエルに主たる事務所が所在する団体であるイスラエル法典に基づく財團法人である国際バカラレア事務局（略称IBO）（以下略、さらに詳しく知りたければ、ホームページhttp://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/mushouka/1307345.htm 参照）

ここで見られるように、韓国学校は日本政府からの支援を受けている。朴だけではなく、「朝鮮学校無償化が停止しているのは日本の朝鮮人差別」ではない。北朝鮮という独裁・テロ国家、それに従属する朝鮮総連、そしてさらにその管理下にあり、北朝鮮礼賛教育をしている朝鮮学校に問題点があるからこそ、私たちは無償化反対を唱え、日本政府も現時点（二〇一二年十一月）では、無償化をためらっているのである。

ただし、朴の主張で、外国人学校が未だ法制度化され

ておらず、生徒たちが卒業後の進路や、教育のために受けられて当然の法的保障を受けていないこと、外国人学校が適切な形で日本に法制度として確立することの必要性は私も同感だ。しかしここでも朴は隠していることがある。これまで、外国人学校法案をはじめとして、そのような法制度化の試みに常に反対してきたのは朝鮮総連と、そしてそれに同調する一部日本知識人だったのだ。

一九六八年、文科省が提起していた外国人学校法案の前半部を紹介する。

【外国人学校法案】

(目的)

第一条 この法律は、外国人学校の制度を設けることにより、わが国に居住する外国人に対する組織的な教育活動が国際的な友好関係の増進に寄与するとともに、その自主的な教育がわが国の利益と調和を保ちつつ発展することができるようにすることを目的とする。

(外国人学校の教育)

第三条 外国人学校においては、広く国際的な友好関係の増進に寄与することを旨として、その自主的な教育が行

われるものとする。

二 外国人学校においては、わが国と外国との間における理解及び友好関係を著しく阻害し、又はわが国の憲法上の機関が決定した施策をことさらには難する教育その他わが国の利益を害すると認められる教育を行つてはならない。

(設置者)

第四条 外国人学校は、次の各号に該当する者でなければ、設置することができない。

一 外国人学校を運営するために必要な経済的基礎を有する者。

二 経営者が外国人学校を運営するために、必要な知識又は経験を有すること。

三 経営者が社会的信望を有すること。

(是正命令)

第八条 文部大臣は、外国人学校についてこの法律又はこの法律に基づく命令の違反があつたときは、該当外国人学校の設置者に対して、違反の是正のために必要な措置を講ずべきことを命ずることができる。

(閉鎖命令)

第九条 文部大臣は、外国人学校の設置者が前条の規定に

基づく命令に違反した場合その他外国人学校について重大な法令の違反があつた場合において、第一条に定める目的の達成を著しく阻害するためやむを得ない必要があると認められるときは、その設置者に対して、当該外国人学校の閉鎖を命ずることができる。

明確に敵国、侵略者とみなしている北朝鮮の現在の政策は教育に反映されてはならないのだ。

このような内容に対し、朝鮮総連や当時彼らを支持していた知識人らは、この法案は、日本への同化を強制するものであり受け入れられないと猛反発。法案は論議以前に国会でも提出できず、その年は逆に教育内容の精査もなく朝鮮大学校が東京都により、民団らの反対を押し切って認可されることになった。

この法案をそのまま現在も設置すべきとは思わない。時代により変えるべき点は多かるう。しかし「外国人学校においては、わが国と外国との間における理解及び友好関係を著しく阻害し、又はわが国の憲法上の機関が決定した施策をことさらに非難する教育その他わが国の利益を害すると認められる教育を行つてはならない」という視点は極めて重要である。これは日本への同化ではない。日本社会での外国人教育の原則として、まず理解と友好を目的とすることが前提でなければならず、日本を

朴が豊かな多文化共生社会、より良き民族教育、イン

ターナショナルスクールの発展、そして外国人学校の法制度化を求めるのならば、まず必要なのは、朝鮮学校の総連からの分離、そして教育内容の全面改革であることを、朝鮮大学校を卒業した彼自身こそよく知っているはずである。